

北見市上下水道中期経営プラン (後期 平成 27 年度～令和元年度)

【平成 30 年度取り組み状況】

「北見市上下水道中期経営プラン（後期）」は、今後 10 年間の上下水道局全体の経営戦略として取り組む「北見市上下水道ビジョン（平成 22 年 3 月策定、平成 22～令和元年度）」の実現に向けた後期 5 カ年の主要施策の実施計画を示しています。

この中期経営プランに基づき実施した平成 30 年度の取り組み状況等を実績報告として取りまとめ、次年度以降の事業の着実な推進に努めます。

目 次

1. 実施計画（体系図）	1
2. 計画の取り組み状況（平成 30 年度）	
【水道項目】	2
【下水道項目】	4
【共通項目】	5
3. 数値目標一覧	6
4. 財政収支見通し	7

1. 実施計画

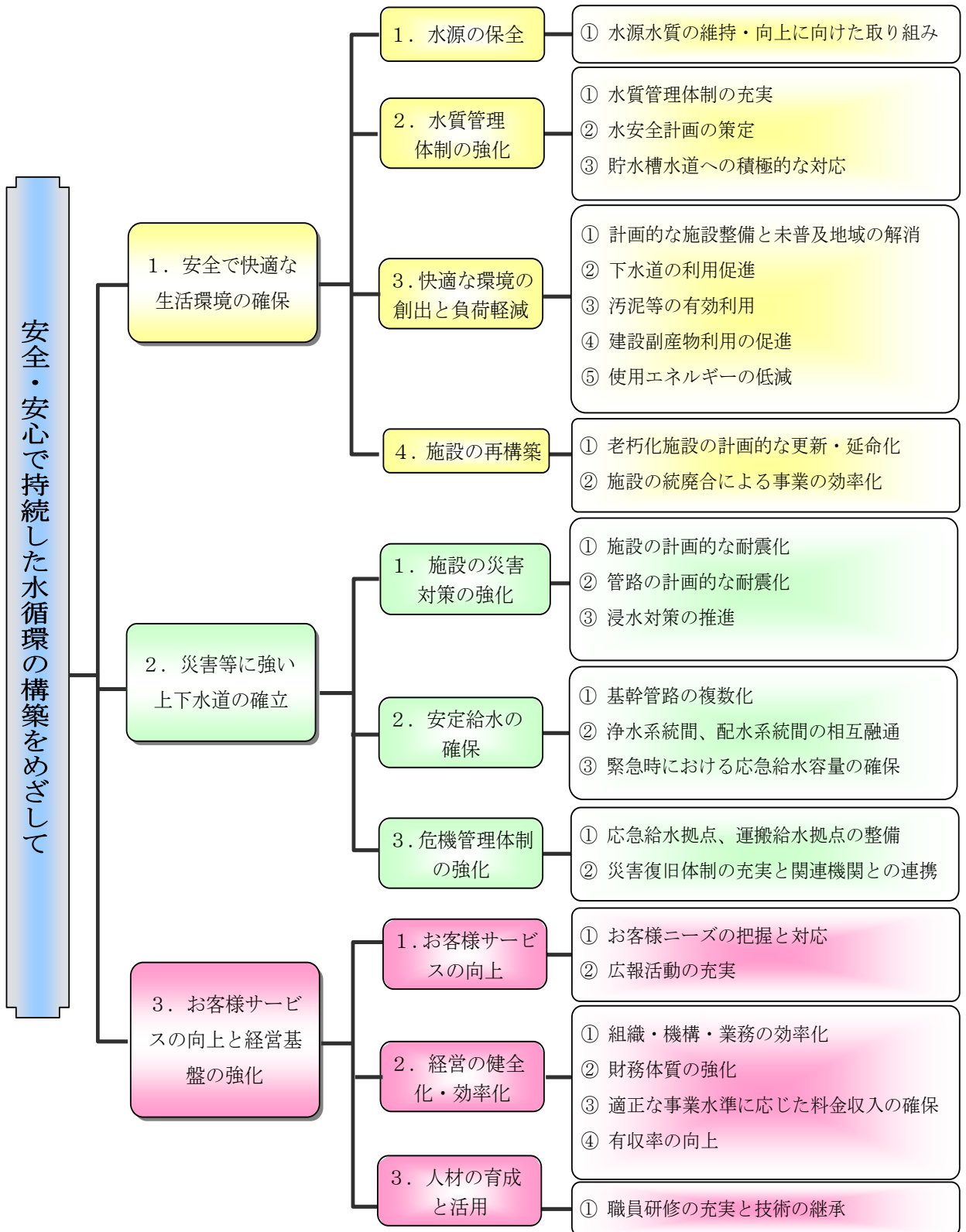
体系図

《基本理念》

《基本目標》

《基本方針》

《主要施策》



2. 計画の取り組み状況(平成30年度)

【水道項目】

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績	実績額 (百万円)										
安全で快適な生活環境の確保	水源水質の維持・向上に向けた取り組み	水源水質調査、パトロールの継続、関係機関協議会への参加を行い水源水質の維持向上に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査計画に基づく河川水質調査や降雨時における河川パトロールを実施しました。 降雨強度計をモニタリングし、高濁度水発生の予測に活用しました。 常呂川水系清流ルネッサンスⅡ及び北海道一級河川環境保全連絡協議会網走地方部会に参加し、関係機関と水質浄化対策の協議や連絡体制の強化を図りました。 浄水場の施設見学会や出前講座を活用し、水道事業の紹介とPRを行うとともに、水道水源の状況や対策等を周知しました。水道週間のイベントとして浄水場の施設見学会を開催しました。 											
	水質管理体制の充実	毎年度「水道水質検査計画」を策定・実施し、定期的な検査機器の更新を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 「平成30年度 水質検査計画」を策定し、これに基づき水質検査を実施しました。 検査機器等の更新 ガスクロマトグラフ質量分析装置、薬品及び試料保存用冷蔵庫ほか 	19										
	「水安全計画」の策定	「水安全計画」を適宜見直しを行い安定的な水道水の供給に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 水安全計画を運用し、検証と見直しを行いました。 											
	貯水槽水道・専用水道への積極的な対応	水質の確保された水道水が供給されるよう、水道事業者として積極的に貯水槽水道・専用水道設置者とともに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 簡易専用水道設置者には検査についての文書を送付し、検査を実施しました。 (62件/64件 検査率 96.9%) 小規模貯水槽水道設置者に対し、検査の重要性についての文書を送付しました。 (対象施設 310件) 											
	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組めます。 ◎数値目標(水道普及率) 水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区内人口)	<ul style="list-style-type: none"> 未普及地域解消等事業 広明町地区配水管布設工事ほか φ50～φ75 211.1m <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">温根湯温泉地区の道営事業との合併施行による未普及地域解消事業が完了しました。</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.5%</td> <td>94.6%</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	温根湯温泉地区の道営事業との合併施行による未普及地域解消事業が完了しました。	H29	H30	R1	94.5%	94.6%	98.6%	10
	実績		目標	温根湯温泉地区の道営事業との合併施行による未普及地域解消事業が完了しました。										
	H29	H30	R1											
	94.5%	94.6%	98.6%											
	汚泥等の有効利用	広郷浄水場においては、H27までに天日乾燥床を整備し、現在産業廃棄物として処分している汚泥の有効利用を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 旧北見仁頃高等学校解体工事の埋戻し材及び歩道植樹帯の補充用土として有効利用を図りました。 旧天日乾燥床の埋戻し利用や市民配布について、オホーツク総合振興局と協議を行いました。 											
	建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 舗装復旧にあたり、アスファルト再生合材(50%)を利用しました。 浅層埋設による土工量及びアスファルト廃材等の縮減の実現に向けて、北見工大との共同研究を計画どおり進めています。 	1										
使用エネルギーの低減	「環境計画書」作成の検討や使用エネルギーの少ない機器への更新などを検討し、環境負荷低減に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 環境計画書作成に向け、データの収集を行いました。 端野町地区川向増圧ポンプ場のポンプ設備更新工事において、効率性の高いポンプに更新しました。 広郷浄水場において、照明器具の一部LED化やセンサーライトの導入による節電対策を実施しました。 												
老朽化施設の計画的な更新・延命化	導送配水管更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 配水管更新事業 φ50～φ200 北見 5200.5 m 端野 0.0 m 常呂 0.0 m 留辺薬 0.0 m 計 5200.5 m 	589											
	広郷浄水系統送配水施設更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 緑ヶ丘・大正第2配水池の水位計を更新しました。 端野町地区川向増圧ポンプ場のポンプ設備を更新しました。 	11											
	金華取水導水配水施設更新について、配水系統の変更や維持管理の効率化などを含め検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 金華浄水場の中央監視制御装置の受変電設備を更新するための実施設計を行いました。 留辺薬地区の将来の水需要予測を踏まえた更新のあり方について検討を行いました。 	8											
	その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> 広郷浄水場の後次垂注入設備を更新しました。 常呂町地区の岐阜増圧ポンプ場の流量計を更新しました。 鹿ノ子ダムの放流警報設備などの更新事業に対し、流量分を費用負担しました。 	16											
	施設の統廃合による事業の効率化	H28までに、1上水道事業へ統合するため統合簡易水道事業などを実施します。 緋牛内浄水場を廃止し、協和地区と統合します。	<ul style="list-style-type: none"> 温根湯温泉地区の統合簡易水道事業を完了しました。 大和地区 道営事業負担金 配水管布設工事 φ50～φ100 155.8 m 	32										

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績	実績額 (百万円)														
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	主要施設の構造物については順次耐震診断を実施し、耐震性の低い施設は耐震化に向けた検討を行います。 ◎数値目標(浄水場耐震化率) 耐震化された浄水施設能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・吉野配水池の耐震診断調査を行いました。	6														
			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>95.5%</td> <td>95.6%</td> <td>95.7%</td> </tr> </table> 配水池の耐震診断を優先しているため、耐震化率は不変です。		実績		目標	H29	H30	R1	95.5%	95.6%	95.7%					
			実績		目標													
	H29	H30	R1															
	95.5%	95.6%	95.7%															
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>85.3%</td> <td>85.4%</td> <td>94.0%</td> </tr> </table> 配水池の耐震診断を優先しているため、耐震化率は不変です。	実績		目標	H29	H30	R1	85.3%	85.4%	94.0%								
	実績		目標															
	H29	H30	R1															
	85.3%	85.4%	94.0%															
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>28.7%</td> <td>31.3%</td> <td>52.9%</td> </tr> </table> 計画的に耐震診断を実施しています。(令和2年度完了予定)	実績		目標	H29	H30	R1	28.7%	31.3%	52.9%								
実績		目標																
H29	H30	R1																
28.7%	31.3%	52.9%																
管路の計画的な耐震化	基幹管路については優先的に、他の管路についても更新と併せ積極的に耐震化に取り組みます。 ◎数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・管路耐震化事業 ダクタイル鋳鉄管(GX形) 1726.2 m ポリエチレン管(PE) 53.8 m 計 1780.0 m	送配水管更新事業費に計上															
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>4.3%</td> <td>4.5%</td> <td>6.1%</td> </tr> </table> 老朽管更新事業に併せて口径φ150mm以上の管は耐震管を採用しました。		実績		目標	H29	H30	R1	4.3%	4.5%	6.1%						
実績		目標																
H29	H30	R1																
4.3%	4.5%	6.1%																
基幹管路の複数化	基幹管路の2系統化事業を検討・実施します。	・老朽管の布設替えに重点をおき事業を進めているため、現時点では未実施です。																
浄水系統間、配水系統間の相互融通	連絡管整備計画の策定を行います。	・平成28年度に行った基礎調査を基に、実施可能な連絡管整備について、検討を行いました。																
	金華浄水系統～広郷浄水系統・温根湯温泉上水系統連絡管工事を実施します。	・連絡管整備計画未策定のため現時点では未実施です。																
緊急時における応急給水容量の確保	緊急貯水槽整備計画の策定を行います。	・老朽施設更新等に重点をおき事業を進めているため、現時点では未策定です。																
	緊急貯水槽整備工事を検討、実施します。																	
応急給水拠点、運搬給水拠点の整備	応急給水拠点、運搬給水拠点整備計画の策定を行います。	・中区配水池の更新計画において、応急給水拠点や運搬給水拠点としての機能を持たせるべく、配水池から給水車に直接給水することが可能な構造にしました。	6															
	配水施設整備に併せた拠点整備に取り組みます。																	
災害復旧体制の充実と関連機関との連携	災害関連マニュアルの整備や緊急資機材の備蓄、水処理情報の一元化及びマッピングシステムの精度向上に取り組みます。	・水道マッピングシステムのデータ更新を行いました。 ・協和浄水場にモバイル監視システムを設置しました。 ・温根湯温泉浄水場に監視制御設備の増設を行いました。 ・緊急資機材として漏水バンドや給水袋5,000枚を購入しました。	25															
お客様サービスの向上と経営基盤の強化																		
有収率・有効率の向上	有収率、有効率の向上は事業経営上においても重要課題であるため、継続的に取り組みます。 ◎数値目標(有収率) 料金徴収の対象となる水量の割合(有収水量/給水量) ◎数値目標(有効率) 有効に使用された水量の割合(有効水量/給水量) ※有効水量:有収水量に洗管等の事業用水量を加えた水量	・有収率向上のための取り組みを行いました。 老朽管更新工事・漏水調査・漏水修繕工事	39															
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>有収率</td> <td>80.8%</td> <td>79.3%</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>有効率</td> <td>87.7%</td> <td>86.2%</td> <td>90.0%</td> </tr> </table> 計画的に老朽管更新工事・漏水調査を進めます。		実績		目標	H29	H30	R1	有収率	80.8%	79.3%	84.4%	有効率	87.7%	86.2%	90.0%	
		実績		目標														
H29	H30	R1																
有収率	80.8%	79.3%	84.4%															
有効率	87.7%	86.2%	90.0%															

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績	実績額 (百万円)	
安全で快適な生活環境の確保	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組みます。 ◎数値目標(下水道普及率) 下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/ 認可区域内人口)	・汚水処理施設整備事業 汚水管整備 φ200 mm L=192.25m 公共汚水樹の新設、更新 実績 目標 H29 H30 R1 99.7% 99.8% 99.8% 計画どおりに推移しています。	94	
	下水道の利用促進	水洗化率の向上に向けて継続的に啓発活動を行います。	・未水洗家屋の個別訪問を継続的に行いました。 対象件数 736件 訪問件数 651件		
	汚泥等の有効利用	下水汚泥については、全量を有効利用するための方法・施設整備の検討を行い、また消化ガスについても利用の検討・整備を行います。	・汚泥を減量し、消化ガスを発生させる消化タンクの更新を平成28年度から平成30年度まで実施し、令和元年度からの供用開始を予定しています。 ・浄化センター消化タンク及びボイラ棟更新工事 ・FITを活用し、消化ガスを民間事業者へ売却する基本協定を締結しました。	688	
	建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	・舗装復旧にあたり、アスファルト再生合材(50%)を利用しました。 ・取り壊した既設の舗装合材は、再資源化プラントにおいて処理しました。		
	使用エネルギーの低減	「環境計画書」作成の検討や使用エネルギーの少ない機器への更新などを検討し、環境負荷低減に取り組みます。	・北見市浄化センターの消化タンク・ボイラ棟の機械設備及び電気設備を更新しました。	147	
	老朽化施設の計画的な更新・延命化	長寿命化計画の策定を行います。 長寿命化対策・改築更新事業を実施します。	・管渠内カメラ調査～卸町、高砂町、田端町外 L=10335.25m	40	
			・管路改築事業(山下通地区、春光町・公園町・条丁目地区) φ200～φ1500 mm L=2380.59m	592	
			・改築更新事業 洗浄汚泥移送ポンプ更新、誘導灯設備更新、給油設備更新(北見市浄化センター) ポンプ場化実施設計(端野町下水道管理センター)	31	
	災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	耐震診断の結果と長寿命化計画に合わせた耐震化に取り組みます。 ◎数値目標(処理場の耐震化率) 耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/ 構造物数)	・北見市浄化センターの消化タンク、ボイラ棟、熱交換器棟の更新事業が完了しました。 実績 目標 H29 H30 R1 25.9% 32.2% 32.2% 北見市浄化センターの消化タンク、ボイラ棟の改築更新により目標値に到達しました。	汚泥等の有効利用費に計上
		管路の計画的な耐震化	耐震化を踏まえた長寿命化計画の策定に取り組みます。 長寿命化計画に併せた耐震化に取り組みます。 ◎数値目標 (重要な下水幹線等耐震化率) 耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/ 重要な幹線等延長)	・管渠内カメラ調査～卸町、高砂町、田端町外 ・管路改築事業(山下通地区、春光町・公園町・条丁目地区) φ200～φ1500 mm 令和元年度までは長寿命化計画に、令和2年度からは修繕・改築計画に基づき耐震化に取り組みます。 実績 目標 H29 H30 R1 8.9% 9.4% 10.0%	
浸水対策の促進		大雨の影響を受けやすい地域から優先的に雨水管整備に取り組みます。 ◎数値目標(雨水面積整備率) 雨水整備の計画面積に対する浸水対策済み面積割合 (雨水整備面積/ 公共下水道事業認可区域面積)	・雨水管整備事業 雨水管整備 φ200～φ1500 L=977.22m 実績 目標 H29 H30 R1 62.4% 62.5% 61.2% 入馬川幹線(桜町・朝日町・田端町)の複数化整備により雨水面積整備率が向上しました。	210	

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績	実績額 (百万円)									
経営	お客様ニーズの把握と対策	アンケート調査を定期的実施するなど、データの蓄積と分析によりお客様サービスの向上に取り組めます。 ◎数値目標(アンケート情報収集割合) 調査対象とした調査票送付件数に対する回答件数の割合(回答件数/送付件数)	・北見市のホームページで口径・用途・水量を入力すると水道料金及び下水道使用料を自動計算するページを作成しました。										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>50.0%</td> <td>次回はR1年度調査予定です。</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H29	H30	R1		—	—
実績		目標											
H29	H30	R1											
—	—	50.0%	次回はR1年度調査予定です。										
営業	広報活動の充実	各種広報活動を充実させることにより、事業経営についてお客様のご理解と信頼を得るよう取り組みます。 ◎数値目標(上下水道事業に係る情報の提供度) 広報誌などによる利用者への情報提供の割合(広報誌等掲載回数)	・上下水道事業の予算・決算、施設の維持管理の状況や断水・事故情報のほか、各種の届出や収納窓口に関する情報等、お客様が必要とする情報や「水道週間」・「下水道の日」についての周知を広報誌及び北見市のホームページやフェイスブック等により実施しました。 ・浄水場及び終末処理場の施設見学を受け入れ、事業内容の説明を行いました。										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>今後も継続して、市民の皆様が情報を入手しやすい広報誌を積極的に活用します。</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H29	H30	R1		3	6
実績		目標											
H29	H30	R1											
3	6	4	今後も継続して、市民の皆様が情報を入手しやすい広報誌を積極的に活用します。										
盤	組織・機構・業務の効率化	継続的に組織・機構・業務を見直すことにより効率的な企業経営に取り組めます。	・組織、機構、業務の見直しなどについて継続的に調査研究を進めました。 ・電力調達(高圧電力)に際し入札を行い、経費削減に取り組めました。										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H29	H30	R1		—	—
実績		目標											
H29	H30	R1											
—	—	—	—										
の	財務体質の強化	財政計画の策定、未利用資産の有効利用などを実施し、財務体質の強化に取り組めます。	・「北見市上下水道ビジョン」に基づき予算編成を行い、執行しました。 ・事業の執行に当たっては、収入の確保に努めるとともに、費用の縮減を図った結果、水道事業で、83,407,634円、下水道事業で、298,463,548円のそれぞれ当年度純利益となりました。										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H29	H30	R1		—	—
実績		目標											
H29	H30	R1											
—	—	—	—										
の	適正な事業水準に応じた料金収入の確保	定期的な料金水準の検討を行い将来の事業経営の安定を目指します。	・料金水準の見直し 料金水準の検討について、平成29年度中の北見市上下水道審議会への諮問・答申及び議会審議を経て、平成30年11月分から水道料金を改定しました(平均改定率19.59%を2年毎に2段階で引き上げ)。また、下水道使用料は検討の結果据え置きとなりました。 料金改定の周知のため、広報きたみ5月号から8月号まで特集記事を掲載したほか、改定直前の検針に合わせてチラシを全戸配布しました。 ・財務状況の開示 広報5月号(予算)及び広報11月号(決算)に掲載したほか、北見市のホームページに経営情報として、各種資料を掲載しました。										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H29	H30	R1		—	—
実績		目標											
H29	H30	R1											
—	—	—	—										
化と	職員研修の充実と技術の継承	安定的に事業を継続できるよう、研修制度の充実や、技術の継承に取り組めます。	・「平成30年度北見市上下水道局職員研修計画」を策定し、本計画の各研修メニューに基づいた全体・専門別及び外部研修を実施しました。										

基本目標1. 安全で快適な生活環境の確保

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	前期末 H26	実績数値					目標 R1
				H27	H28	H29	H30	R1	
1-3-① 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区域内人口)	94.2%	94.3%	94.4%	94.4%	94.5%	94.6%		98.6%
1-3-① 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%	99.8%		99.8%

基本目標2. 災害等に強い上下水道の確立

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	前期末 H26	実績数値					目標 R1
				H27	H28	H29	H30	R1	
2-1-① 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	95.4%	95.4%	95.5%	95.5%	95.6%		95.7%
2-1-① ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	84.9%	84.9%	84.9%	85.3%	85.4%		94.0%
2-1-① 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	27.5%	27.5%	27.7%	28.7%	31.3%		52.9%
2-1-② 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	3.7%	4.0%	4.2%	4.3%	4.5%		6.1%
2-1-① 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	25.9%	25.9%	25.9%	25.9%	32.2%		32.2%
2-1-② 重要な下水幹線等の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な幹線等延長)	8.0%	8.5%	8.6%	8.6%	8.9%	9.4%		10.0%
2-1-③ 雨水面積整備率	雨水整備の計画面積に対する浸水対策済みの面積割合 (雨水整備面積/公共下水道 事業認可区域面積)	54.9%	60.4%	60.5%	60.9%	62.4%	62.5%		61.2%

基本目標3. お客様サービスの向上と経営基盤の強化

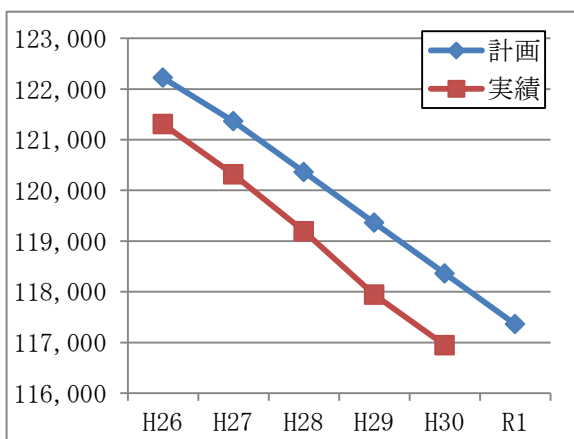
指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	前期末 H26	実績数値					目標 R1
				H27	H28	H29	H30	R1	
3-1-① アンケート情報収集割合	アンケート調査依頼数に対する回答数の割合 (アンケート回答数/調査依頼数)	-	36.7%	-	-	-	-		50.0%
3-1-② 上下水道事業に係る情報の提供度	広報誌等掲載回数 (年度中の掲載回数)	2回	3回	3回	3回	3回	6回		4回
3-2-④ 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	77.8%	80.1%	80.8%	80.8%	79.3%		84.4%
3-2-④ 有効率	有効に使用された水量の割合 (有効水量/給水量) ※有効水量: 有収水量に洗管等の事業用水量を加えた水量	83.0%	85.0%	86.9%	87.6%	87.7%	86.2%		90.0%

4. 財政収支見通し

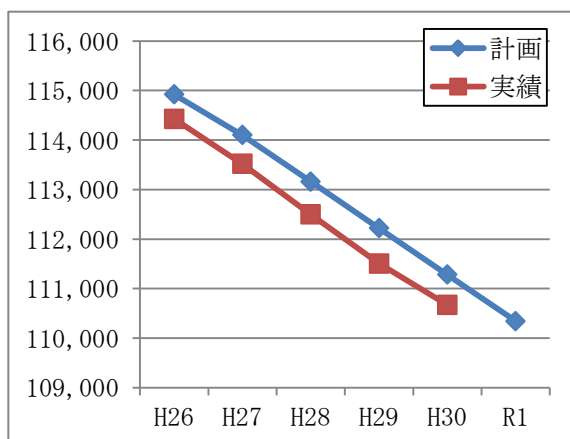
(1) 水需要量の状況

年 度		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
①行政区域内人口(人)	計画	122,220	121,360	120,360	119,360	118,360	117,360
	実績	121,303	120,314	119,194	117,939	116,944	
②給水人口(人)	計画	114,920	114,100	113,160	112,220	111,280	110,340
	実績	114,425	113,519	112,495	111,505	110,671	
③給水戸数(戸)	計画	67,030	66,550	66,010	65,460	64,910	64,360
	実績	67,308	67,486	67,830	68,116	68,270	
④有収水量(m ³ /日)	計画	32,503	32,500	32,349	32,198	32,047	31,896
	実績	31,950	31,603	31,451	31,122	30,635	

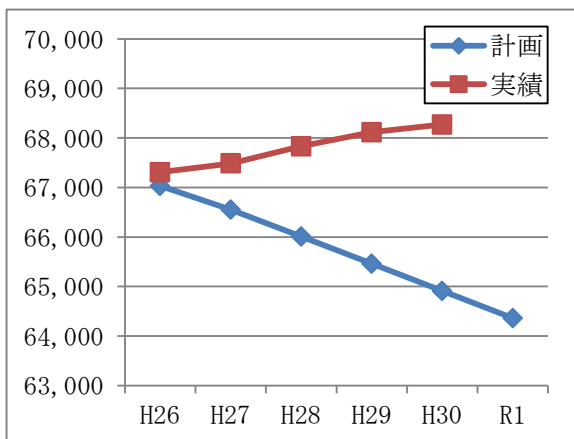
①行政区域内人口(人)



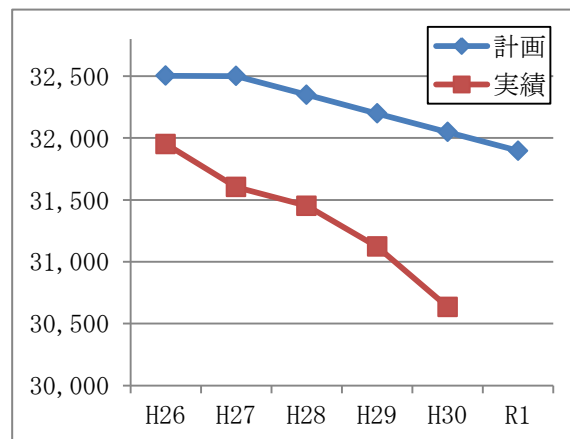
②給水人口(人)



③給水戸数(戸)



④有収水量(m³/日)



行政区域内人口の減少に伴い給水人口が減少している一方で、給水戸数(空き家を含む)は増加しています。また、節水型機器の普及などの影響もあり、有収水量は計画との乖離が大きくなっています。平成30年度の有収水量は前年度と比べ1.56%の減となりました。

※有収水量 : 料金徴収の対象となった水量

(2) 財政計画と実績

◎水道事業

(単位：百万円)

区 分	H30年度① (計画)	H30年度② (実績)	②-①
受入資金 (A)	4,133	3,558	△ 575
うち料金収入	2,378	2,400	22
支払資金 (B)	4,141	3,559	△ 582
うち建設改良費	1,306	886	△ 420
収支差引 (C)=(A)-(B)	△ 8	△ 1	7
資金残高 (D)=(C)+前年度	3,213	3,769	556

◎下水道事業

(単位：百万円)

区 分	H30年度① (計画)	H30年度② (実績)	②-①
受入資金 (A)	6,917	6,622	△ 295
うち使用料収入	1,883	1,838	△ 45
支払資金 (B)	6,614	6,397	△ 217
うち建設改良費	2,115	2,148	33
収支差引 (C)=(A)-(B)	303	225	△ 78
資金残高 (D)=(C)+前年度	△ 254	△ 113	141

※当初計画に企業債の借り換えを見込んでいないため、実績値の受入資金(A)及び支払資金(B)から借換債841百万円を除いています。

◎水道事業

受入資金(A)では、事業量の減少に伴い企業債収入が計画を下回りましたが、料金収入については、平成30年11月分から料金を改定したことにより計画を上回っています。

支払資金(B)では、建設改良費が金華系統の更新事業の延伸などにより減少したほか、低金利により支払利息が減少したこと、職員の若年化に伴い人件費が抑制されたことなどから計画を下回りました。

この結果、収支差引(C)で百万円の不足となりましたが、資金残高(D)は、計画に比べ556百万円上回っています。

◎下水道事業

受入資金(A)では、使用料収入が減少したことや国庫補助金が要望額を満たさなかったことなどにより計画を下回りました。

支払資金(B)では、低金利により支払利息が減少したほか、職員の若年化に伴う人件費の抑制などにより計画を下回りました。

この結果、収支差引(C)で受入資金が支払資金を225百万円上回り、資金残高(D)は、計画に比べ141百万円上回っています。

※水道事業、下水道事業ともに資金残高は計画を上回って推移していますが、人口減少などの影響から使用水量が減少する中で、災害対策や老朽管更新を着実に進めていかなければなりません。今後も上下水道ビジョンに掲げた目標の実現に向けて、経営状況等を勘案しながら効率的に事業を実施し、安全・安心で持続した水循環の構築を目指してまいります。

参考：＜財政収支の見通し（資金）、計画・実績＞

◎水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
受入資金 (A)	4,450	4,307	4,262	4,521	4,133	3,960
うち料金収入	2,395	2,417	2,400	2,389	2,378	2,366
支払資金 (B)	4,280	4,125	4,122	4,491	4,141	4,056
うち建設改良費	1,628	1,493	1,431	1,698	1,306	1,167
収支差引 (C)=(A)-(B)	170	182	140	30	△8	△96
資金残高 (D)=(C)+前年度	2,869	3,051	3,191	3,221	3,213	3,117

実績

(単位：百万円)

年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
受入資金 (A)	4,250	3,963	4,637	3,632	3,558	
うち料金収入	2,345	2,380	2,370	2,351	2,400	
支払資金 (B)	3,885	3,697	4,263	3,566	3,559	
うち建設改良費	1,490	1,198	1,824	981	886	
収支差引 (C)=(A)-(B)	365	266	374	66	△1	
資金残高 (D)=(C)+前年度	3,064	3,330	3,704	3,770	3,769	

◎下水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
受入資金 (A)	6,712	6,817	6,680	6,954	6,917	7,009
うち使用料収入	1,906	1,914	1,900	1,891	1,883	1,874
支払資金 (B)	6,342	6,466	6,307	6,610	6,614	6,744
うち建設改良費	1,766	1,886	1,777	2,104	2,115	2,269
収支差引 (C)=(A)-(B)	370	351	373	344	303	265
資金残高 (D)=(C)+前年度	△1,625	△1,274	△901	△557	△254	11

実績

(単位：百万円)

年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
受入資金 (A)	6,367	6,501	6,542	6,967	6,622	
うち使用料収入	1,860	1,889	1,882	1,864	1,838	
支払資金 (B)	5,958	6,095	6,036	6,631	6,397	
うち建設改良費	1,512	1,596	1,701	2,255	2,148	
収支差引 (C)=(A)-(B)	409	406	506	336	225	
資金残高 (D)=(C)+前年度	△1,586	△1,180	△674	△338	△113	

※当初計画に企業債の借り換えを見込んでいないため、実績値の受入資金(A)及び支払資金(B)では借換債の額を除いています（平成28年度240百万円、平成29年度857百万円、平成30年度841百万円）。